

第2回まちづくり勉強会

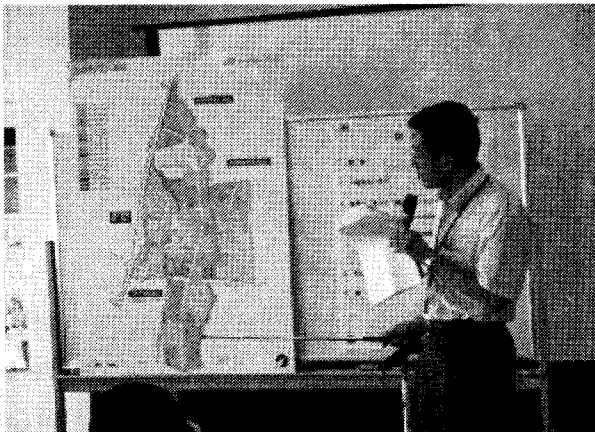
●第2回まちづくり勉強会が開催されました

8月25日（土）美園小学校地域交流スペースにおいて、みそのウイングシティの地権者の皆様を対象に第2回まちづくり勉強会を開催しました。

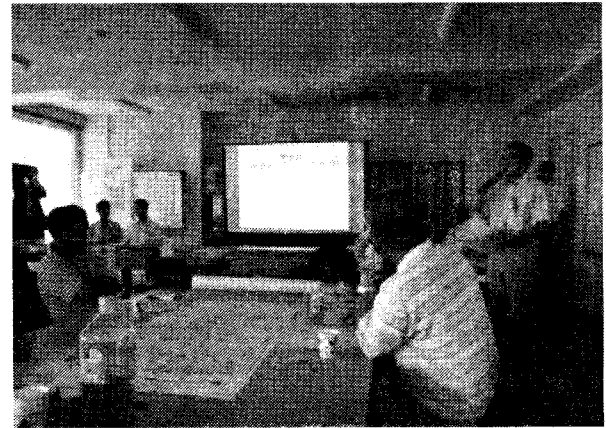
21名のご参加のもと、「みそのウイングシティの土地区画整理事業の状況」や「第1回まちづくり勉強会の結果報告」が行われた後、4つのグループに分かれての「座談会」形式にて“魅力あるこれからのまちづくり”をテーマとして、まちづくりのコンセプトや実現化に向けたアクション等について活発な意見交換が行われました。

（第2回まちづくり勉強会次第）

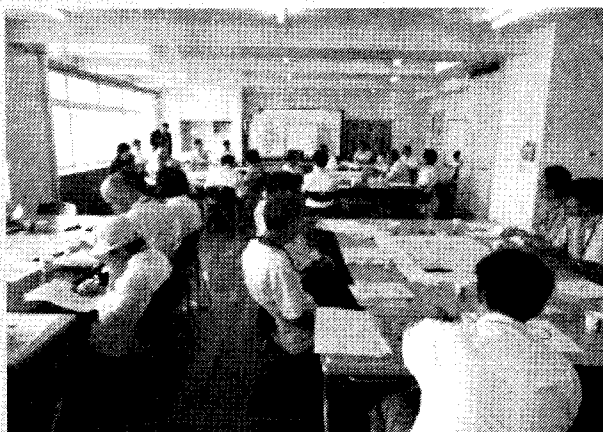
- ・みそのウイングシティ土地区画整理事業の状況について
- ・第1回まちづくり勉強会の結果報告
- ・魅力あるまちづくり実践の考え方及び、先進事例の紹介
- ・座談会（4グループに分かれての意見交換、意見交換内容の発表）



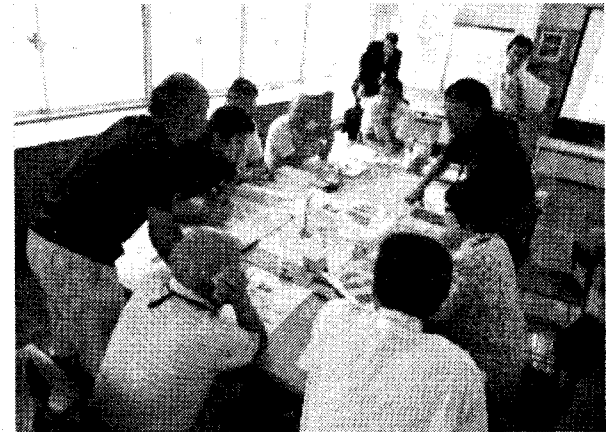
[土地区画整理事業の状況報告]



[座談会の進め方、先進事例の紹介]



[多くの皆様のご参加の下で意見交換を実施]



[活発な意見交換が行われました]

●座談会であげられた主なご意見など

平成 25 年 10 月

『魅力あるこれからのまちづくり』をテーマに、みそのウイングシティの魅力付けやまちづくりコンセプトとして、以下のキーワードが提案されました。

- ・「スポーツ」や「サッカー」の活用
- ・「地域の自然環境」、「周辺の農業」との連携、活用
- ・「エコ」、「健康」、「安全安心」、「コミュニティ」等の取組み
- ・調節池、公園をスポーツやエコの取組みに有効活用
- ・サイクリングロードやジョギングコースの整備
- ・来街者や住民が楽しめる仕掛けや魅力付け
- ・駅前街区の有効的な活用（健康、福祉、スポーツ等）
- ・地区外の農園等との連携
- ・企業、施設誘致の促進

その他、実現化に向けては「話し合える“場”が不足しているのではないか」、「隣接する土地の地権者がわからないため、共同での土地活用などの話ができない」などの課題も上げられました。

（東京大学瀬田准教授の講評）

皆様から力強い、具体的な提案が多く寄せられ大変有意義な勉強会だったとの感想を持ちました。

日本のまちづくりの良い点にいろいろな立場の方が話し合い、意見をすり合わせていく点があります。

今後、更にイメージを具体化させ、アイデアを持ち寄りながらよいまちづくりを進めていただきたいと思います。



※各グループの意見交換内容の詳細については裏面をご参照ください。

当日、座談会での意見交換において挙げられたご意見やご提案につきましては、今後の勉強会の開催やまちづくり施策等の参考にしてまいります。

※まちづくり勉強会の結果については、市のホームページでもご覧になれます。

〈問い合わせ先〉 政策局 東部地域・鉄道戦略室 小島、田口 TEL048-829-1871

●各グループでの意見交換内容

Aグループ魅力づけのテーマ：コミュニティによる賑わいづくり

●実現に向けたアクションのイメージ

①スポーツを活かした取り組み

- サッカー観戦客をうまく地域の観光資源（イチゴ狩りなど）へ誘導
- 綾瀬川を利用したジョギングコースの整備、イベントの企画

②環境・エコを活かした取り組み

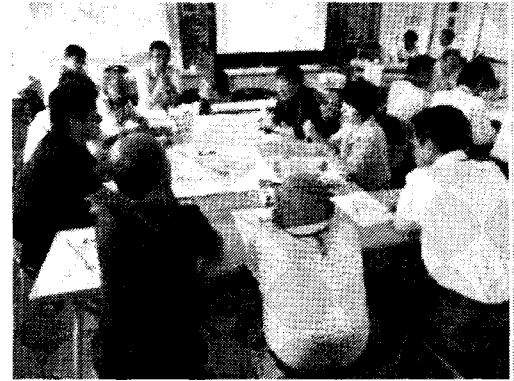
- 調節池の有効活用
- スマートホーム・コミュニティ街区と連携したエコのまちづくり

③農業を活かした取り組み

- 地域周辺の農業の有効利用、農業指導やイベントによるコミュニティの活性化

●その他の意見

- 駅前街区を有効に利用することが重要。駅前広場ももっと広くてもよいのでは
- 隣接地権者の名前もわからず土地活用の話ができない、地権者同士で話し合う「場」がない



Bグループ魅力づけのテーマ：スポーツとオープンスペースの活用

●実現に向けたアクションのイメージ

①サッカーを活かしたまち

- サッカー大学の設置、選手・指導者育成、医療施設も併設、国際的なまちとしていきたい。
- レッズと一体化したまちづくり。駅とスタジアムをつなぐサッカーロードの整備

②サイクリングロード、マラソン道の整備

- 埼玉スタジアム2002や、しらこぼと水上公園、綾瀬川等をつなぐルート整備

③駅前活用

- 街路樹による魅力付け

④水辺空間、綾瀬川、公園施設を活かしたまちづくり

- 調節池や公園を利用して収益をあげて管理費を捻出、地元も維持管理に協力していく

●その他の意見

- 地元権利者の組織化も重要である。自治会活動に行政のサポートがあるとやりやすい
- 祭りなどの地域交流、コミュニティ形成の場を作れるような工夫をしては



Cグループ魅力づけのテーマ：特色のあるまちづくりの実践

●実現に向けたアクションのイメージ

①環境・エコ・健康のまち

- 調節池の有効活用、スマートホーム・コミュニティ街区と連携したソーラー発電
- 調節池の多目的利用による運動施設、ビオトープの整備

②地域コミュニティを活かした安全・安心の魅力あるまちづくり

- 魅力のある街並み、きれいで特徴的な街並みを地権者自らのルール作りなどにより実現
- 安全、安心をアピールするセキュリティシステム

③教育、子育てに特化したまちづくり

- 地区内の賑わいや交流人口の増加の為に大学施設は効果的
- 美園小学校など有効活用による子育て機能確保

④駅前街区の土地活用方策

- 駅前街区の有効活用が重要、たとえば、複合施設の利活用や高齢者や子供の交流・憩いの機能導入



Dグループ魅力づけのテーマ：来街者、住民が楽しめるまちづくり

●実現に向けたアクションのイメージ

①まちに来た人が楽しめるしかけづくり

- スタジアム参道の魅力付けとして、沿道の街並み誘導や調節池へのつり橋整備
- サッカーに来た人が立ち寄れる場所の整備（花による修景、川沿い桜並木整備等）

②住む人にとっての魅力づくり

- 住民が安価に使えるスポーツ施設が少ない
- 調節池ヘグランド、テニスコート整備やスイミング・ボーリング施設誘致等

○施設・企業の誘致

- 地区内の大規模画地を活かした東川口にできないまちづくりを目指したい
- 駅前を有効活用していく事は重要、地区内には病院、福祉施設、商業施設（最寄り品）が不足

○土地の活用

- 共同で土地活用を考えたいが、隣地の地権者が不明であり相談出来ない
- 地権者の土地活用を支援してくれるような企業（デベロッパー等）の参画に期待

